

令和5年度

幼稚園だより 10月号



文京区立千駄木幼稚園

地域に根差した幼稚園として

園長 多比良 由恵

爽やかな風や日の入りの早さにより秋を感じるようになりました。今月の運動会は、文林中校庭をお借りし、4年振りに全園児一緒に行います。

保護者やご来賓の皆様には、全学年の子どもたちの取組の様子から、幼児の発達や成長を身近に感じていただけることと思います。ご参観お待ちしております



〈ひろ〜い！
文林中学校校庭〉

さて本園では、文京区保幼小中連携推進ブロックとして、駒込保育園、千駄木小学校、文林中学校の4校園での交流・連携活動に取り組んでおり、その取組は本園の特色ある教育活動の一つ（◆地域との交流）です。

○夏の夕涼み会では、久しぶりに文林中の生徒さんたちが「お店屋さん」として参加してくれました。幼児は、お兄さん、お姉さんから「どれがいい？」と優しく声を掛けてもらい、迷いながら嬉しそうに手作りのおみやげを選んでいました。中学生も優しい笑顔で子どもたちに関わってくれました。中学生を身近に感じ、関わることのできた貴重な一日でした。

○教員向けの夏季研修会では、アルバ・エデュ代表理事 竹内明日香先生をお迎えし『今、求められるプレゼンテーション能力』のご講演を伺いました。「子どもは、何を言っても受け入れてもらえる、何を言ってもいいんだ、という心理的安全性のある環境の中で、伝わった、拍手をもらった、という嬉しさや成功体験を感じ、それが自己効力感をもつことにつながっていく」、また「園児から小学校低学年の子どもたちは、自分の気持ちに対して非常にオープンで、そのほとぼしる気持ちを誰かに伝えたくてたまらない日々を過ごしている（『すべての子どもに「話す力」を』竹内明日香著）」というお話がありました。子どもたちの「伝えたい！」思いを受け止め、伝わる嬉しさやもっと知りたい…などの気持ちを支え育んでいくために、身近な大人たちや幼稚園の役割の大きさを改めて感じました。

9月の祖父母ふれあい会では、園児の祖父母の皆様遊びにきていただくことができました。また、地域のお祭りに子どもたちが参加し園でもお祭りごっこを楽しんでいます。地域に根差した幼稚園として地域の皆様や保幼小中との繋がりを大切に、教育活動に取り組んで参ります。



〈研修会の様子〉